

森林レンジャーがゆく (141)

「森の子コレンジャー活動紹介」

森の子コレンジャーは、森林レンジャーが発足した翌年に「市の豊かな自然を次世代につなぐ」目的で開始した自然環境教育で、今年度で14期目となりました。対象は、市内在住の小学校4年生から6年生（6年生は経験者限定）で定員を10名としています。これまで137名が参加し、約半数がリーダーとして次期の活動に参加しています。毎年集まる参加者は、不思議なことに趣味が合うからか自然に仲良くなっています。

年9回実施する活動では、登山を基本として市の多様な自然を発見するだけではなく、森林レンジャーが行う調査の協力や環境整備も行っています。また、変化し続ける自然とともに学ぶ中で自然の魅力や現状を伝えています。

特に人気がある活動は、ノコギリやスコップなどを使う環境整備です。整備後に、その場所を利用する生き物や芽吹いた植物を見て成果を感じられることも人気の理由です。成果だけではなく、大雨や大型哺乳類に荒らされた現場を目の当たりにして、思い通りにならない自然との関わり方を学んでくれていると思います。この整備は、現役生の活動としては12年目となり、参加者や保護者の要望を受けて実施するようになった同窓会も10年目となりました。自然のための場所は、いつしか私たちにとっても大切な場所になりました。

開始した当初、自然は好きだけど詳しく知らない参加者が大半でしたが、近年は様々なことに詳しいという傾向が見られます。その反面、身近な生き物を実際に見たことがない参加者もいます。自然への入り口が時代とともに変化しているからこそ「自分の足で歩き、見て聞いて、触れて匂いを嗅ぐ、そして、時には味わう」実体験が特に重要だと感じています。この実体験を元に、コレンジャーそれぞれが自然愛を育んでいることが分かります。また、自然は良いことばかりではなく、注意や忍耐、そして勇気が必要となります。その自然を相手にすることで個人の成長にもつながっているようです。

来期も、森林レンジャーのパブロと加瀬澤は、自然を愛する次世代とともに活動



を続けていきたいと思っています。「自然が好きでもっと知りたい」「自然のためになることをしたい」という思いを持つ方のご応募をお待ちしています。応募用紙は学校を通じて配布していますが、この広報に募集記事が掲載されていますのでご確認ください。（加瀬澤）